

宮 崎 県 感 染 症 週 報

宮崎県薬務感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

令和7年第47週 (ARIのみ第46週) の発生動向

□ 全数報告の感染症 (47 週までに新たに届出のあったもの)

1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 5 例。3 類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 5 例。
4 類感染症：日本紅斑熱 2 例。5 類感染症：梅毒 2 例、百日咳 1 例。

	疾患名	報告 保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	60歳代	男	肺結核	なし
			60歳代	女	無症状病原体保有者	なし
		都城	40歳代	男	無症状病原体保有者	なし
		延岡	70歳代	男	肺結核	咳、痰、発熱
		日南	80歳代	男	肺結核	胸痛、呼吸困難
3類	腸管出血性大腸菌 感染症	都城	0～4歳	女	—	水様性下痢、嘔吐、O157(VT2)
			20歳代	男	無症状病原体保有者	なし、O血清群不明(VT1)
			60歳代	男	無症状病原体保有者	なし、O血清群不明(VT2)
			80歳代	男	無症状病原体保有者	なし、O血清群不明(VT1)
		小林	70歳代	女	無症状病原体保有者	なし、O103(VT1)
4類	日本紅斑熱	宮崎市	80歳代	女	—	発熱、刺し口、肝機能異常、その他
			80歳代	男	—	発熱、刺し口、発疹、肝機能異常、その他
5類	梅毒	都城	20歳代	女	早期顕症梅毒Ⅱ期	梅毒性バラ疹
			20歳代	男	早期顕症梅毒Ⅱ期	初期硬結、丘疹性梅毒疹
	百日咳	高鍋	10歳代	女	—	持続する咳、夜間の咳き込み、呼吸苦

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

・第 47 週の定点医療機関からの報告総数(急性呼吸器感染症除く)は 985 人(定点当たり 45.2)で、前週比 137%と増加した。

なお、前週に比べ増加した主な疾患はインフルエンザ、感染性胃腸炎で、減少した主な疾患は新型コロナウイルス感染症、RSウイルス感染症、伝染性紅斑であった。

また、第 46 週の急性呼吸器感染症の報告総数は 1,670 人(定点当たり 59.6)で、前週比 109%と増加した。

【インフルエンザ】

報告数は 690 人(24.6)で、前週比 202%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(1.5)の約 16.4 倍であった。年齢群別は 15 歳未満が全体の約 8 割を占めた。

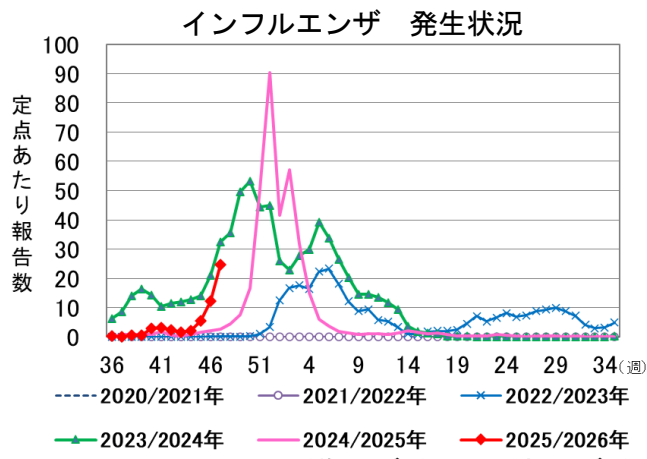
【伝染性紅斑】

報告数は 37 人(2.5)で、前週比 73%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(0.56)の約 4.5 倍であった。年齢群別は 3 歳から 6 歳が全体の約半数を占めた。

【感染性胃腸炎】

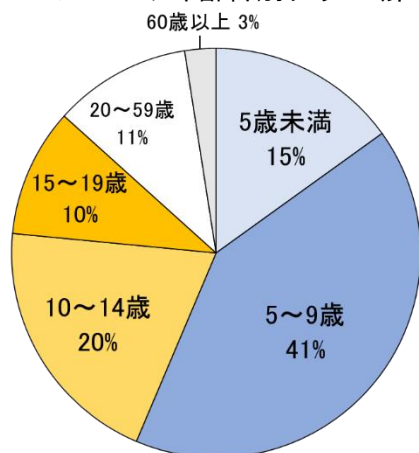
報告数は 127 人(8.5)で、前週比 132%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(11.5)の約 0.7 倍であった。年齢群別は 2 歳から 5 歳が全体の約 3 割を占めた。

* 新型コロナウイルス感染症流行前 5 年間(2015—2019)の当該週、前週、後週(計 15 週)の平均値

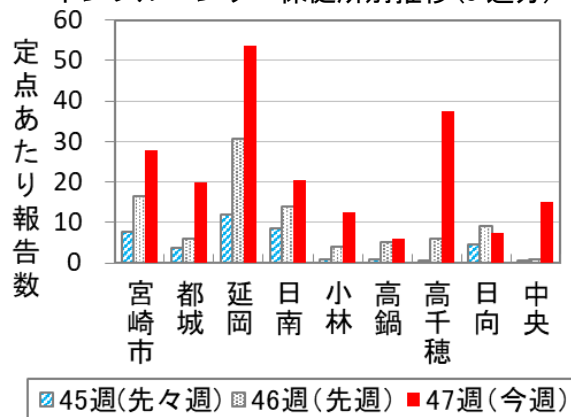


※2025年第15週からは定点医療機関数が58から28に変更

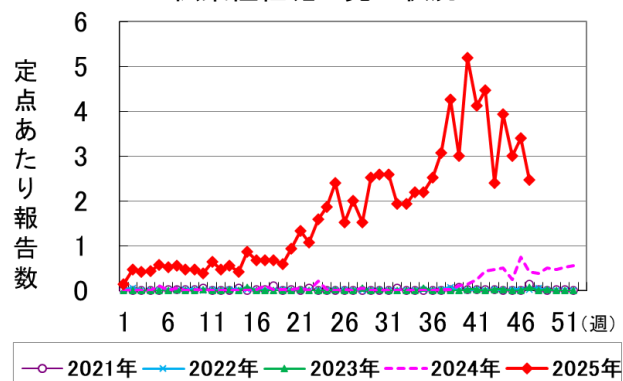
インフルエンザ年齢群別グラフ(第47週)



インフルエンザ 保健所別推移(3週分)

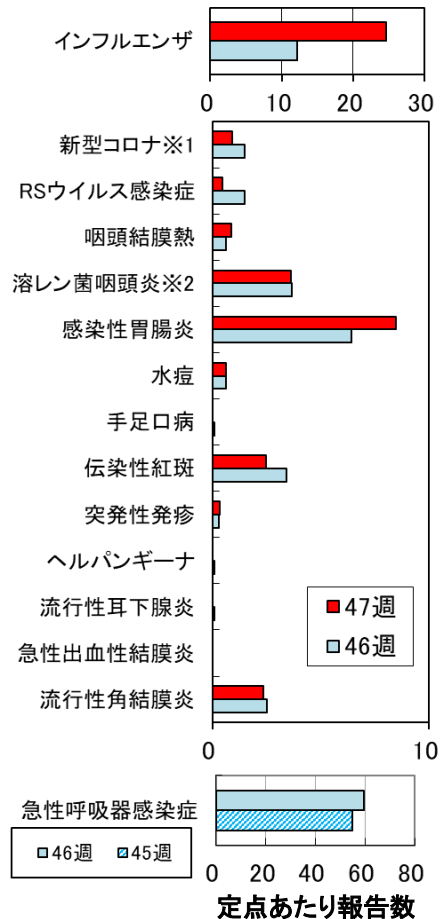


伝染性紅斑 発生状況



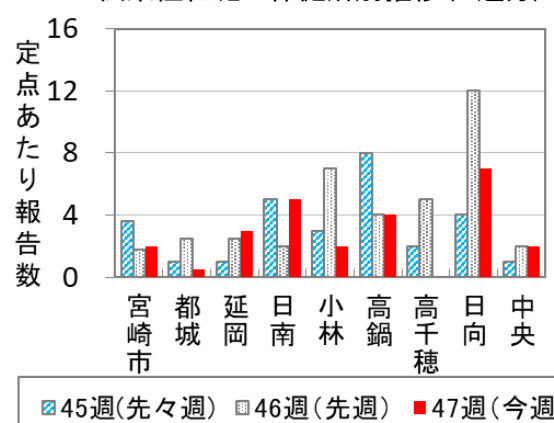
※2025年第15週からは定点医療機関数が36から15に変更

《前週との比較》

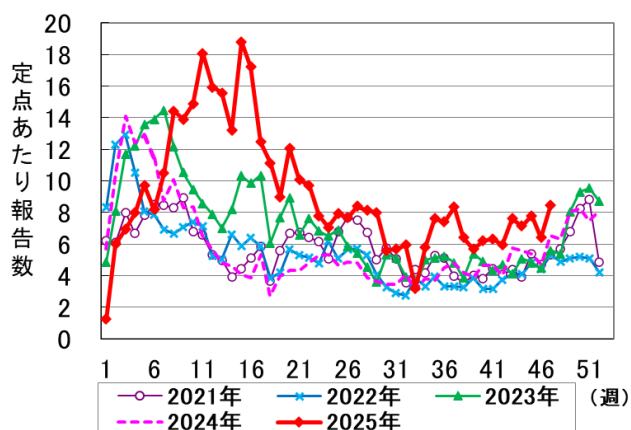


※1 新型コロナウイルス感染症
 ※2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

伝染性紅斑 保健所別推移(3週分)

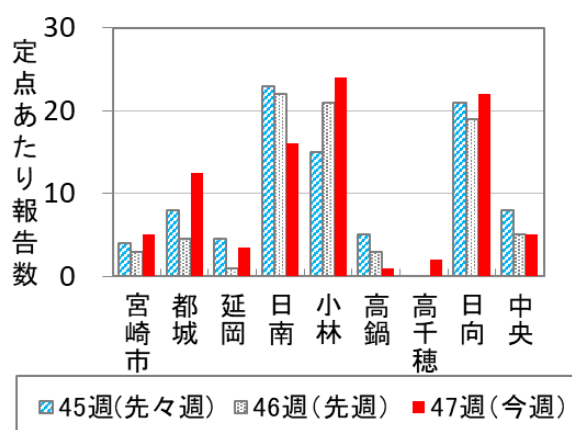


感染性胃腸炎 発生状況



※2025 年第 15 週からは定点医療機関数が 36 から 15 に変更

感染性胃腸炎 保健所別推移 (3 週分)



★基幹定点からの報告★

○マイコプラズマ肺炎：報告数は 4 例(定点当たり 0.57)で、宮崎市(2 例)、都城(1 例)、小林(1 例)保健所から報告があった。年齢は 5～9 歳が 2 例、0～4 歳が 1 例、15～19 歳が 1 例であった。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	インフルエンザ(27.9)、水痘(1.6)、伝染性紅斑(2.0)
都城	インフルエンザ(20.0)
延岡	インフルエンザ(53.7)、伝染性紅斑(3.0)
日南	インフルエンザ(20.5)、伝染性紅斑(5.0)
小林	インフルエンザ(12.5)、感染性胃腸炎(24.0)、伝染性紅斑(2.0)
高鍋	A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8.0)、伝染性紅斑(4.0)
高千穂	インフルエンザ(37.5)
日向	感染性胃腸炎(22.0)、伝染性紅斑(7.0)
中央	インフルエンザ(15.0)、伝染性紅斑(2.0)

※流行警報レベル開始基準値※

- ・インフルエンザ(30)
- ・A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8)
- ・感染性胃腸炎(20)
- ・伝染性紅斑(2)

※流行注意報レベル基準値※

- ・インフルエンザ(10)
- ・水痘(1)

※流行警報レベル開始基準値、流行注意報レベル基準値は令和 6 年度まで運用した参考値です。

□病原体検出情報（衛生環境研究所微生物部）

★急性呼吸器感染症 (Acute Respiratory Infection : ARI)

(2025 年第 46 週:11 月 10 日～11 月 16 日搬入分)

検出病原体			検出数
インフルエンザウイルス	A型	AH1pdm09	0
		AH3	4
	B型	ビクトリア系統	0
		山形系統	0
新型コロナウイルス			1
RSウイルス	A型		0
	B型		0
パラインフルエンザウイルス	1型		0
	2型		0
	3型		0
	4型		0
ヒトメタニューモウイルス			0
ライノウイルス			0
エンテロウイルス			0
アデノウイルス			0
インフルエンザウイルスAH3・パラインフルエンザウイルス2型			1
インフルエンザウイルスAH3・ライノウイルス			1
検出せず※2			0
受付検体数			7

○ 急性呼吸器感染症 (ARI) ※1サーベイランス検体について、急性呼吸器感染症サーベイランス遺伝子検査マニュアルに従い、検査を実施した。

※1 急性呼吸器感染症 (ARI)：咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか 1 つ以上の症状を呈し、発症から 10 日以内の急性的な症状であり、かつ医師が感染症を疑う外来症例

※2 左記のいずれのウイルスも検出されなかった検体数を計上

(細菌・ウイルスについては 2025 年 11 月 24 日までに検出分)

★細菌

同定細菌名	年齢(歳)	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同定日
<i>Salmonella</i> Enteritidis (O9:g,m:-)	5～9歳	女	2025.10.25	発熱、腹痛、下痢	便	2025.10.30
<i>Salmonella</i> Bareilly (O7:y:1,5)	10歳代	男	2025.11.04	発熱、頭痛、嘔気・嘔吐、腹痛、下痢	便	2025.11.12

★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取年月日	臨床症状等	検出材料	分離・検出日
Parvovirus B19	5～9歳	女	2025.10.14	伝染性紅斑	咽頭ぬぐい液	2025.11.18
Parvovirus B19	10歳代	男	2025.10.16	伝染性紅斑	咽頭ぬぐい液	2025.11.18
Parvovirus B19	20歳代	男	2025.11.05	風疹疑い、40℃、関節痛、関節炎、発疹	血清	2025.11.14
Influenza virus A H3※	5～9歳	男	2025.10.14	インフルエンザA、40℃、頭痛、気管支炎	鼻汁	2025.11.12
Influenza virus A H3※	5～9歳	男	2025.10.14	インフルエンザA、39℃、気管支炎	鼻汁	2025.11.12
Influenza virus A H3※	20歳代	女	2025.10.14	インフルエンザA、37.7℃、気管支炎	鼻腔ぬぐい液	2025.11.12
Influenza virus A H3※	40歳代	女	2025.10.14	インフルエンザA、39.6℃、気管支炎	鼻腔ぬぐい液	2025.11.12
Influenza virus A H3※	10歳代	女	2025.10.21	インフルエンザA、39.0℃、気管支炎	鼻腔ぬぐい液	2025.11.12

※ ARI 病原体定点から検出されたウイルスのうち、分離されたウイルスも再掲

🇯🇵 全国 2025 年第 46 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし	
2類感染症	結核	227 例
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	78 例
4類感染症	腸チフス	1 例
	E型肝炎	5 例
	A型肝炎	2 例
	エムポックス	1 例
5類感染症	ジカウイルス感染症	1 例
	重症熱性血小板減少症候群	2 例
	つつが虫病	11 例
	デング熱	2 例
6類感染症	日本紅斑熱	5 例
	ライム病	2 例
	レジオネラ症	39 例
	レプトスピラ症	2 例
7類感染症	アメーバ赤痢	6 例
	ウイルス性肝炎	1 例
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	14 例
	急性弛緩性麻痺	2 例
	急性脳炎	18 例
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	21 例
8類感染症	後天性免疫不全症候群	15 例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	5 例
	侵襲性髄膜炎菌感染症	1 例
	侵襲性肺炎球菌感染症	54 例
9類感染症	水痘(入院例)	7 例
	梅毒	138 例
	破傷風	1 例
10類感染症	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	2 例
	百日咳	613 例
11類感染症	風しん	1 例
	麻しん	6 例

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数（急性呼吸器感染症除く）は前週比 150%と増加した。なお、前週と比較して増加した主な疾患はインフルエンザ、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎で、減少した主な疾患はRSウイルス感染症であった。また、急性呼吸器感染症の報告数は前週比 121%と増加した。

インフルエンザの報告数は 145,526 人(37.7)で前週比 173%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(0.96)の約 39.2 倍であった。宮城県(80.0)、埼玉県(70.0)、福島県(58.5)からの報告が多く、年齢群別では 15 歳未満が全体の約 7 割を占めた。

伝染性紅斑の報告数は 1,514 人(0.65)で前週比 98%とほぼ横ばいであった。例年同時期の定点当たり平均値*(0.40)の約 1.6 倍であった。宮崎県(3.4)、鹿児島県(2.4)、愛媛県(2.4)からの報告が多く、年齢群別では 3 歳から 6 歳が全体の約 6 割を占めた。

* 新型コロナウイルス感染症流行前 5 年間(2015－2019)の当該週、前週、後週(計 15 週)の平均値

疾病名		第46週	第47週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	342	690	251	80	161	41	25	12	75	15	30
	定点当り	12.21	24.64	27.89	20.00	53.67	20.50	12.50	6.00	37.50	7.50	15.00
新型コロナウイルス感染症	報告数	41	25	3	1	5	3		2	6		5
	定点当り	1.46	0.89	0.33	0.25	1.67	1.50	0.00	1.00	3.00	0.00	2.50
RSウイルス感染症	報告数	22	7	5	1				1			
	定点当り	1.47	0.47	1.00	0.50	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	9	13	13								
	定点当り	0.60	0.87	2.60	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	55	54	24	10	4	2	5	8	1		
	定点当り	3.67	3.60	4.80	5.00	2.00	2.00	5.00	8.00	1.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎	報告数	96	127	25	25	7	16	24	1	2	22	5
	定点当り	6.40	8.47	5.00	12.50	3.50	16.00	24.00	1.00	2.00	22.00	5.00
水痘	報告数	9	9	8	1							
	定点当り	0.60	0.60	1.60	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	1										
	定点当り	0.07	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
伝染性紅斑	報告数	51	37	10	1	6	5	2	4		7	2
	定点当り	3.40	2.47	2.00	0.50	3.00	5.00	2.00	4.00	0.00	7.00	2.00
突発性発しん	報告数	4	5	2			1					2
	定点当り	0.27	0.33	0.40	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	2.00
ヘルパンギーナ	報告数	1										
	定点当り	0.07	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	1										
	定点当り	0.07	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	15	14	4	7	3						
	定点当り	2.50	2.33	1.33	3.50	3.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数	1	4	2	1			1				
	定点当り	0.14	0.57	2.00	1.00	0.00	0.00	1.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

2025年 第46週(11月10日～11月16日)

		第45週	第46週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
急性呼吸器感染症	報告数	1537	1670	500	170	210	181	98	75	109	186	141
	定点当り	54.89	59.64	55.56	42.50	70.00	90.50	49.00	37.50	54.50	93.00	70.50

ARI定点:28、小児科定点:15(ARI定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2025年 第1週～47週 保健所受理分)

2類感染症	結核	121例(5)				
	腸管出血性大腸菌感染症	33例(5)				
4類感染症	E型肝炎	3例	A型肝炎	1例	重症熱性血小板減少症候群	7例
	つつが虫病	8例	デング熱	2例	日本紅斑熱	32例(2)
	レジオネラ症	8例	レプトスピラ症	1例		
5類感染症	アメーバ赤痢	4例	ウイルス性肝炎	2例	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	2例
	急性脳炎	2例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	16例	後天性免疫不全症候群	4例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	3例	侵襲性肺炎球菌感染症	20例	水痘(入院例)	3例
	梅毒	112例(2)	播種性クリプトコックス症	1例	破傷風	3例
	百日咳	1,396例(1)				

()内は今週届出分、再掲